

中国ブロック

再犯防止シンポジウム

～薬物依存の問題を抱える犯罪をした者等への支援の在り方～

入場
無料

日時

令和元年 **11月23日** 祝 13:30-16:30

場所

広島ガーデンパレス 2階 [鳳凰] 広島県広島市東区光町 1-15-21

基調講演



近藤 恒夫 こんどう つねお

日本ダルク本部 代表

1941年秋田県生まれ。1980年札幌拘置所出所後、ロイ神父と共に依存症の施設を設立。1985年民間薬物依存症リハビリセンター(DARC)を設立。1990年バチカンローマ法皇庁にて薬物施設日本代表として参加。1994年第9回東京弁護士会人権賞、2001年第35回吉川英治文化賞を受賞。2006年法務省東京矯正管区長賞を受賞。2013年第4回作田明賞最優秀賞を受賞。

田代 まさし たしろ まさし

日本ダルク本部 スタッフ

1956年佐賀県生まれ。愛称「マーシー」。24歳の時、チャンネルズでメジャーデビュー。その後芸能界にも進出、人気者に。しかし、2001年覚醒剤で逮捕、その後、2回の覚醒剤での逮捕により計7年間刑務所へ。出所後、薬物依存症からのリハビリ施設「DARC」でプログラムを受けながら、全国各地の講演などで、薬物依存からの回復を精力的に伝えている。

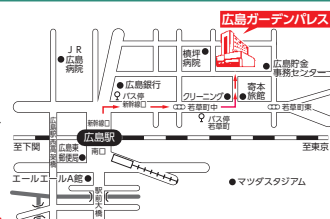


プログラム

- 12:30～ 開場・受付開始
13:30～ 開会
13:40～14:40 基調講演
近藤 恒夫 (日本ダルク本部 代表)
田代まさし (日本ダルク本部 スタッフ)
…………… 休 憩 ……………
14:50～16:10 パネルディスカッション
【コーディネータ】箕輪 幸人 (株式会社テレビ新広島 代表取締役社長)
【パネリスト】千坂 雅浩 (鳥取ダルク・岡山ダルク 理事長
NPO法人 リカバリーポイント 理事長)
松浦 博彰 (岡山家族会ぴあ 代表)
橋本 望 (岡山県精神科医療センター 医局長)
坂本 歩 (法務省広島保護観察所 統括保護観察官)
16:10～16:20 京都コンgresからのお知らせ
法務省大臣官房国際課
16:30 閉会

アクセス

- 新幹線・電車でお越しの場合
JR 広島駅「新幹線口」から徒歩 5分
- お車 (高速道路) でお越しの場合
山陽道広島東インター 経由
広島高速 1号線「岡所 I.C.」より約10分
- 高速バスでお越しの場合
広島バスセンターから
広島バス②・③番で約10分
〔若草町〕下車徒歩 1分



※会場にお越しの際は、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

申込方法

- 必要事項を明記の上、シンポジウム事務局宛てにメールにてお申込みください。(先着順・自由席)
※必ず、kouseishien-hiroshima@cccs.moj.go.jp からの返信が受信できるよう設定をお願いします。
【必要事項】① (メール件名) シンポジウム申込み
② 参加者氏名・ふりがな ③ TEL ④ ご職業

主催 中国管内再犯防止会議 (広島高等検察庁 / 広島矯正管区 / 中国地方更生保護委員会) / 広島法務局 共催 中国四国厚生局麻薬取締部

お問い合わせ先 中国ブロック再犯防止シンポジウム事務局
広島矯正管区更生支援企画課内 TEL : 082-223-8177 Mail : kouseishien-hiroshima@cccs.moj.go.jp

基調講演

近藤 恒夫 こんどう つねお

日本ダルク本部 代表

田代 まさし たしろ まさし

日本ダルク本部 スタッフ

パネルディスカッション

◆パネリスト

千坂 雅浩

ちさか まさひろ

NPO法人鳥取ダルク・岡山ダルク 理事長
NPO法人リカバリーポイント 理事長



1960年、仙台市生まれ。茨城、福島、九州ダルクのスタッフを歴任後、鳥取・岡山ダルク代表に就任。現在他に鳥取県再犯防止推進計画検討委員、鳥取県地域依存症対策推進委員、岡山県依存症対策推進協議会委員、鳥取県薬物乱用対策推進本部員を兼任している。

2018年3月には岡山の単位通信制普通科高等学校を卒業した。

松浦 博彰

まつうら ひろあき

岡山家族会ぴあ 代表



「依存症者本人の陰で疲弊しきっている家族に少しでも早く以前のような普通の生活に戻ってほしい。」「回復に向かって行く家族の姿を少しでも多くの依存症で苦しんでいる仲間たちに見せる事で回復の一筋の光になれば。」との思いから、岡山ダルク発足と同時期の2009年（平成21年）9月、中国地方では初となる依存症者の家族会「岡山家族会ぴあ」を設立。県、市、精神科医療センター、ダルク、その他多くの方の支援の下、依存症者本人や家族の支援に尽力。

橋本 望

はしもと のぞむ

岡山県精神科医療センター 医局長



2012年より岡山県精神科医療センター依存症部門医長。
2015年～2016年までキングス・カレッジ・ロンドン精神医学・心理学・神経科学研究所依存症部門に留学し修士課程を修了。
訳書に『アディクションのメカニズム』（金剛出版）。

坂本 歩

さかもと あゆみ

法務省広島保護観察所 統括保護観察官



1994年法務省福岡保護観察所に採用。保護観察官として、九州地方及び中国地方の保護観察所で保護観察対象者等の処遇に従事したほか、地方更生保護委員会で受刑者等の仮釈放審査に関する調査に従事した。2019年から現職。保護観察所では薬物事犯者に対して薬物再乱用防止プログラムを実施しており、現在、広島保護観察所における薬物処遇を統括している。

◆コーディネータ



箕輪 幸人氏

みのわ ゆきと

株式会社テレビ新広島 代表取締役社長

1957年茨城県出身。1982年フジテレビジョン入社後は一貫して報道局勤務。日航ジャンボ機墜落事故、阪神淡路大震災、オウム真理教事件、裁判員制度、東日本大震災などを取材。社会部警視庁・司法両記者クラブキャップ、社会部長、解説委員、常務取締役報道局長兼解説委員長を経て、2014年テレビ新広島代表取締役社長に就任し現在に至る。

申込方法

シンポジウム事務局宛てに**メールにてお申込み**ください。(先着順・自由席)

- ・メール件名に「シンポジウム申込み」と明記し、下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。
- ・お申し込みいただいた場合には、シンポジウム事務局から、受付完了等のメールを返信します。お申し込み後、1週間が経過しても返信がない場合には、お手数ですが、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
※必ず、kouseishien-hiroshima@cccs.moj.go.jpからの返信が受信できるよう設定をお願いします。
- ※締切前であっても、定員になり次第、締め切らせていただきます。また、1件当たりのお申し込み人数が多い場合、人数調整をさせていただくことがありますので、予めご了承ください。

【必要事項】 ① (メール件名) シンポジウム申込み ② 参加者氏名・ふりがな ③ TEL ④ ご職業

* 個人情報の取扱いについて：お申し込みの際に提供していただいた個人情報につきましては、厳重に管理し、本シンポジウムの開催・運営に関してのみ使用させていただきます。

お問い合わせ先

中国ブロック再犯防止シンポジウム事務局 広島矯正管区更生支援企画課内
TEL : 082-223-8177 Mail : kouseishien-hiroshima@cccs.moj.go.jp